



一月往ぬる 二月逃げる 三月去る

お正月から三月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことをいいます。来週からはもう2月です。

3 学期のみんなの目標は、「発表を頑張る」「予習と復習をしっかりとる」「授業中集中する」「宿題をちゃんとする」「先生

の話をしっかり聞いて頑張る」「忘れ物をしない」など、2 学期の反省をふまえて考えていました。実行できていますか。

月末には学年末考査があります。

2 年生に向けて学習面、生活面でもしっかり準備をしましょう。

【2 月の予定】

1 日(月)～4 日(木) 教育相談週間

8 日(月) 火曜時間割! 生徒会専門委員会

9 日(火) 月曜時間割

11 日(木) 建国記念の日

12 日(金) 振替休日(1 月 23 日の振替休業日)

23 日(火) 天皇誕生日

24 日(水) 学年末考査 ①美術 ②音楽 ③技術

25 日(木) 学年末考査 ①国語 ②社会 ③理科

26 日(金) 学年末考査 ①数学 ②英語 ③保体

右の記事は、年末の新聞に掲載されていました。

第 100 回の節目を迎える全国高校ラグビー大会が、令和 2 年 12 月 27 日より東大阪市花園ラグビー場より行われました。大舞台に臨む高校生達へリーチ・マイケルさんからのメッセージです。

みなさんも、きっと何か感じることもあると思います。



「努力は将来の自分に返ってくる」

2019 年 W 杯日本代表主将リーチ・マイケル(東芝)

5 歳でラグビーを始め、高校一年の夏にニュージーランドから北海道札幌山の手高校に留学、全国高校ラグビー大会 84 回～86 回に出場、その後東海大学に進学し 2 年目に日本代表デビュー。2011 年にトップリーグ東芝に入団。2012 年に日本人女性と結婚し 2013 年には日本国籍を取得。

高校で初出場した花園では、2 回戦で正智深谷高に 5-89 で負けた。相手のトンガ留学生との実力差は大きかった。「留学生は強い」というイメージを持たれていたが、僕はチームメートのために何もできなかった。仲間をがっかりさせたのが一番悔しかった。そんな思いは 2 度としたくなかったので、もっと頑張った。花園は、全国での自分の力、立ち位置を知る事ができる場だと思う。

大会中にいろいろなチームや選手を見て、自分が次の年に何をすべきかを考えた。

トンガ留学生を見て、この人達に勝つためには身体を大きくしなければいけないと思った。

僕は来日した頃、178 センチで 80 キロもなかった。監督にたくさんハンバーグを食べさせてもらい、寝る前にはバターを塗ったトーストを 8 枚食べた。毎晩筋力トレーニングをし、きついタイヤ引きも繰り返した。3 年生になると 187 センチで約 100 キロになった。

目標としていた高校日本代表にも選ばれた。今は 189 センチ、113 キロ。大きくなった。

高 2 の時は大阪工大高に 0-55 で負け、関西勢との差を感じた。3 年生の時には 1 回戦で萩工高にも負けた。僕たちは必死さが足りなかった。どこかで自分たちの実力を勘違いしていた。

相手に敬意を払うことが一番大事だと学び、W 杯でもそれを胸に戦った。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大があり、誰も経験したことのない難しい状況になった。

練習や試合を満足にできなかったと思うが、その中でどう工夫して、強化するかは自分の責任だ。

未来のことはわからないけど、「今」は自分でコントロールできる。最も大切なのは先を見据えた準備。そのために、毎日ベストを尽くすことしかできない。

僕は今も、どうしたら強くなれるかを自分で考えている。今年はけがをしていたところ手術したが、トレーナーと話し合いながら、自分の責任で日々過ごしている。日本代表でも、理想に近いチームをいかに作るかを考え続けてきた。高校での 3 年間でベースになっている。

第 100 回大会は特別な大会。試合のメンバーに選ばれた人はその責任を胸に、全部員のことも考えて試合をしてほしい。

大切な仲間との関係は時間が経過しても崩れない。努力は将来の自分に返ってくる。僕は高校時代に地獄のような夏の合宿を乗り越えて、精神面が鍛えられた。タフな経験を積み、この先に苦しい状況や重圧に直面したときに、乗り越えていく力になる。

